

第1学年国語科学習指導案

指導者

令和元年10月17日(木) 5校時

第1学年(男子13名 女子12名 計25名)

単元名 のりものずかんをつくって、2ねんせいによんでもらおう
「いろいろなふね」(東京書籍 新しい国語1年下)

【考え・基礎知識】
教材文から「役目」「つくり」「できること」を見付けることができる。

【つながり】
どの船についても、同じ順序で書かれていることが理解できる。

【応用・ひろがり】
図鑑などから、「役目」「つくり」「できること」を見付け、順序に沿ってまとめることができる。

1 単元設定の理由

○ 単元について

本単元は、小学校学習指導要領国語第1学年及び第2学年の「C読むこと」の指導事項「イ 時間的な順序や事柄の順序などを考えながら内容の大体を読むこと。」「エ 文章の中の大事な言葉や文を書き抜くこと。」を受けて設定したものである。

教材文「いろいろなふね」は、「話題提示」「事例」「まとめ」という文章構成で書かれた説明文である。「事例」として、特徴的な4種類の船「客船」「フェリーボート」「漁船」「消防艇」について、「役目」「つくり」「機能」等を写真と文章で説明している。それぞれ、同じ文章構成・簡単な文型で簡潔に述べられており、児童が大事な言葉や文に気付けるとともに、事柄の順序を考えながら内容を読み取ることに適した教材であると考えます。また、本単元では、2年生に好きな乗り物について紹介する活動を設定している。この活動を通して、自分が選んだ本や図鑑から、大事な言葉や文に着目して内容を正しく読み取り、事柄ごとにまとめる力を育成していく。

○ 児童について

本学級の児童は、これまで、文章の内容を正しく読み取ったり、好きな本を選んで読んだりする学習を行っている。

1学期に初めて学習した説明文「どうやってみをまもるのかな」では、教材文が「話題提示」「事例」の文章構成であることや、それぞれの動物について、「体の特徴」「問い」「身の守り方」の順で説明されているということを学習した。その際、写真から分かることを見付けさせ、本文と結び付けて、内容を把握させた。また、「からだの特徴」「問い」「身の守り方」を表す大事な言葉や文を見付けて、サイドラインを引いたり、ワークシートに書き出したりする活動を行った。しかし、自ら大事な言葉や文を見付けサイドラインを引くことができる児童がいる反面、大事な言葉や文章を見付けることが難しい児童や、大事な言葉や文章を見付けることができてもワークシートに正しく書き出せない児童もいた。

レディネステストでは、次のような結果であった。

重要な語や文を考えて選び出す。	92%
事柄の順序を考えて、内容の大体を捉える。	78%

これらの結果から、重要な語や文を考えて選び出すことができる児童が多いということが分かった。しかし、事柄の順序を考えて、内容の大体を捉えることに課題があると分かった。

○ 指導について

指導に当たっては、主体的な学習とするために、「のりものずかんをつくって、2年生に読んでもらおう。」を学習のゴールとして設定する。のりものカードには、教材文で学習したことを、「役目」「つくり」「できること」の視点に沿ってまとめ、一時間の学習の終わりに「〇〇の船長さんになって〇〇を自慢しよう。」と振り返りを書かせることを毎時間の言語活動として設定していく。

学力フォローアップ校重点取組の低学年の具体的取組内容である「語と語や文と文の続き方に注意して、

内容のまとまりが分かるように書く活動」については、毎時間、学習したことをのりものカードにまとめていくことで、文章から読み取ったことを正しく書き出すことができるように指導したい。その際、本文のどこに書いてあったのかを問い、児童が叙述を根拠にまとめることができるようにする。

「互いの話に関心をもち、相手の発言を受けて話をつなぐ活動」については、大事な言葉や文章を見つけてサイドラインを引いた後に、ペア活動を取り入れ、役目、つくり、できることについて児童同士で確認させる。自分で見つけることが難しい児童に対しては、友達の考えを聞いて分かったことを繰り返し発言するようにさせる。

★ 学力の課題（要因）と考えられる手立て

	学力の課題（要因）	考えられる手立て
A	<ul style="list-style-type: none"> ○文章の内容を理解することができない。 ・文字をすらすら読むことはできるが、ただひらがなを読んでいるだけで、言葉や文の理解はできていない。 ・主語・述語の関係が理解できていない。 <ul style="list-style-type: none"> ○問われていることに対して、本文から正しく書き出すことが難しい。 ・問われていることの意味が分かっていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ☆写真や本文の言葉などの補足説明をする。 ☆本文に引いたサイドラインと同じ色分けしたワークシートを準備し、視覚的に分かるようにする。 ☆スリットを使い、本文の必要な情報だけが見えるようにする。 <ul style="list-style-type: none"> ☆「役目」「つくり」「できること」のキーワードを書いた紙を手元に置き、キーワードを見つけて本文に丸でかこませる。
B	<ul style="list-style-type: none"> ○本文の中の重要な語や文を正しく書き出すことができない。 ・促音や助詞の使い方が正しく理解できていない。 ・文章の全体を読んでいない。 	<ul style="list-style-type: none"> ☆「役目」「つくり」「できること」のキーワードを書いた紙を手元に置く。 ☆マス目のワークシートを準備し、重要な語句を正しく書き出すことができるようにする。
C	<ul style="list-style-type: none"> ○本文の中の重要な語や文を正しく書き出すことができない。 ・主語・述語の関係が理解できない。 ・言葉のまとまりや、文節が理解できない。 <ul style="list-style-type: none"> ○本文を正しく読み取ることが難しい。 ・言葉の意味が理解できない。 ・本文ではなく、絵や思い込みから答えを書いている。 	<ul style="list-style-type: none"> ☆本文にスラッシュを入れ、文節を意識して音読練習をさせる。 ☆本文を指でたどりながら音読させる。 ☆「役目」「つくり」「できること」のキーワードを書いた紙を手元に置く。 ☆「～は、～ためのふねです。」などのキーワードを提示し、主語・述語の関係を理解させる。 ☆本文の言葉の補足説明をする。

指導のポイント ～昭和北中学校区 「学びの変革」アクション・プラン～

★ 育成を目指す資質・能力に関わって

- キーワードを提示することで、「役目」「つくり」「できること」を見付け、ワークシートに正しく書き出すことができるようにする。
- ペアトークを取り入れ、児童同士で考えを交流させることで、自信をもって発表できるようにする。
- 完成したのりもの図鑑を2年生に読んでもらい、認めてもらうことで、自己肯定感が高まるようにする。

2 単元の目標

- 乗り物に興味をもって教材文を読んだり，好きな乗り物について調べたりしようとする。
〔国語への関心・意欲・態度〕
- 事柄の順序に気を付けて，内容の大体と文章の構成を読み取ることができる。〔読むこと イ〕
- 乗り物の「役目」「つくり」「できること」を表す大事な言葉や文を見付けながら読むことができる。
〔読むこと エ〕
- 主語・述語関係に注意して，読んだり書いたりできる。
〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項(1)イ(カ)〕

3 単元の評価規準

国語への関心・意欲・態度	読む能力	言語についての知識・理解・技能
・乗り物に興味をもって教材文を読んだり，好きな乗り物について調べたりしようとしている。	・「役目」「つくり」「できること」の順序に気を付けて，正しく読み取っている。 ・乗り物の「役目」「つくり」「できること」の視点に沿って読み取り，カードにまとめている。	・文の中における主語と述語との関係に注意して文や文章を読んでいる。

4 単元の計画

次	時	学習活動	評 価				
			関	読	言	評価規準	評価方法
一	1	○「のりものずかんをつくろう」という学習のゴールを知る。 ○船に乗ったり船を見たりした経験を話し合う。	○			・学習のゴールを理解し，見通しをもって学習しようとしている。	発表
	2	○全文をはじめ・中・おわりに分ける。		○		・教材文を，はじめ・中・おわりに分けている。	発表
二	3	○「きゃくせん」の役目，つくり，できることを読み取る。		○	○	・「きゃくせん」の役目，つくり，できることを，キーワードを見付けながら読み取っている。 ・主語と述語との関係に注意して文や文章を読んだり書いたりしている。	発表 ワークシート
	4	○「フェリーボート」の役目，つくり，できることを読み取る。		○	○	・「フェリーボート」の役目，つくり，できることを，キーワードを見付けながら読み取っている。 ・主語と述語との関係に注意して文や文章を読んだり書いたりしている。	発表 ワークシート

	5	○「ぎょせん」の役目、つくり、できることを読み取る。	○	○	・「ぎょせん」の役目、つくり、できることを、順序に気を付けながら読み取っている。 ・主語と述語との関係に注意して文や文章を読んだり書いたりしている。	発表 ワークシート
	6	○「しょうぼうてい」の役目、つくり、できることを読み取る。	○	○	・「しょうぼうてい」の役目、つくり、できることを、順序に気を付けながら読み取っている。 ・主語と述語との関係に注意して文や文章を読んだり書いたりしている。	発表 ワークシート
三	7	○好きな乗り物について、図鑑から、役目、つくり、できることを見付ける。	○	○	・乗り物について、興味をもって調べようとしている。 ・大事な言葉や文を見付け、書き出している。	発表 ワークシート
	8 ・ 9	○好きな乗りものについて、図鑑から見付けたことをカードに書き、「のりものずかん」を作る。	○	○	・基本文型に沿って、役目、つくり、できることを順序よくカードに書いている。 ・主語・述語の関係に注意して書いている。	発表 ワークシート
	10	○これまでの学習を振り返る。	○		・これまでの学習を振り返っている。	発表 ワークシート

5 本時の目標

漁船の「役目」「つくり」「できること」について、順序に気を付けながら読み取ることができる。

[読むこと]

主語と述語との関係に注意して文や文章を読んだり書いたりすることができる。

[伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項]

6 本時の流れ（5時間目／全10時間）

学習活動	予想される児童の反応	指導上の留意点（◇） 学力の課題（要因）に対する手立て（◆）	評価規準 〔観点〕 (評価方法)
1 前時までの学習を思い出す。	・キーワードを見付けて、「役目」「つくり」「できること」が分かったよ。	◇「客船」「フェリーボート」について学習したことを想起させる。 ◆客船やフェリーボートで学習したことを掲示し、いつでも確認できるようにする。(A, B, C)	
2 順不同の文章を提示し、範読する。	・順番がおかしい。 ・意味がわからないよ。	◇ばらばらになった文章を正しい文章にするためには、「役目」「つくり」「できること」を見付けるとよいことに気付かせる。	
3 本時のめあてを確認する。	「ぎょせん」の「やくめ」「つくり」「できること」をみつけてカードにかこう。		
4 文章を正しい順に直し、どうしてこの順なのか考える。 (☆)	・客船とフェリーボートと同じ順に並べたらよいと思う。 ・「役目」の次には「つくり」が書いてあるよ。		
5 音読する。		◆本文を指でたどりながら音読させる。 (A, C)	

<p>6 漁船の「役目」「つくり」「できること」を見付け、サイドラインを引く。 ペア→全体 (☆)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・役目は、「～のためのふね。」を探すよ。 ・つくりは、「～があります。」を見付けるよ。 ・漁船は、「～あります。」でなく「～つんでいます。」になっているよ。 ・できることは、「～できます。」を見付けるよ。 	<ul style="list-style-type: none"> ◇「役目」は赤、「つくり」は青、「できること」は緑でサイドラインを引かせる。 ◆キーワードを見付けて、印をつけるように助言する。(A) ◆キーワードを書いたカードを準備し、手元に置いて「役目」「つくり」「できること」を見付けさせる。(C) 	<p>「ぎょせん」の役目、つくり、できることを、順序に気を付けながら読み取っている。 〔読む能力〕 (発表・ワークシート)</p>
<p>7 のりものカードに書く。(☆)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・役目は、「さかなをとるためのふね。」 ・つくりは、「さかなのむれを見つかるきかいや、あみをつんでいる。」 ・できることは、「見つけたさかなをあみでとる。」 	<ul style="list-style-type: none"> ◇のりものカードに書くときには、常体で書くことを確認する。 ◆スリットを使い、本文の必要な情報だけが見えるようにする。(A) ◆カードには、サイドラインと同じ色訳をしており、視覚的な支援をする。(A) ◆カードは、マス目があるものを用意し、大事な言葉や文を抜き出すことができるようにする。(B, C) 	<p>主語と述語との関係に注意して文や文章を読んだり書いたりしている。 〔言語についての知識・理解・技能〕 (発表・ワークシート)</p>
<p>8 客船、フェリーボート、漁船の事柄の順序を比べる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・客船も、フェリーボートも漁船も同じ順序で書かれているよ。 	<ul style="list-style-type: none"> ◇客船やフェリーボートの文章構成と比較しながら、同じ順序で書かれていることを捉えさせる。 ◇表にまとめることで、漁船も「役目」「つくり」「できること」の順で書かれていることを視覚的に捉えさせる。 	
<p>9 本時の学習のまとめをする。</p>	<p>「ぎょせん」も「やくめ」「つくり」「できること」のじゅんでせつめいされている。</p>		
<p>10 振り返りをする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・漁船は、魚をたくさんとるために大きなあみをつんでいるんだよ。 ・漁船につんである機械でたくさんの魚を見付けることができるんだよ。 ・一度にたくさんの魚を捕まえることができるんだよ。 	<ul style="list-style-type: none"> ◇ペアトークで振り返りをさせる。 	

☆は育成を目指す資質・能力に関わる活動

7 板書計画

